

令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

◆日時 令和5年6月1日（木）16:00～17:30

◆会場 大阪ECO動物海洋専門学校 7F 701教室

【学校関係者委員】

業界代表 大下 勲 堺市獣医師会会長 大下動物病院院長
保護者代表 中西 敦子 動物高度医療科2年 中西 舞衣 保護者
卒業生代表 吉本 喬 2006年度エコ・コミュニケーション科卒業生
地域代表 白國 哲治 大阪市西区民生委員

学校教職員

松浦 英二、村井 研太、城者 定史、栗津 邦彦、石田 克洋、前川 宏希（議事録）

開会の挨拶 松浦 学校長より

本日はお集まりいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスもひと段落して、こうやって対面で委員会を開催できることになりました。

わたしが長年勤めていた高校でも自己点検を行ってきました。学校に関わる皆さんからのご意見を頂戴してより良い学校運営に繋げていきたいと思えます。

学校関係者評価委員開催について 村井事務局長

事前にお配りした自己点検自己評価のシートを元に本日はご説明をさせていただきたいと思えます。先ほど学校長よりお話もありました新型コロナの影響もひと段落し、学校の新たな課題や取組もごさいます。忌憚ない意見を賜ればと思っております。

令和4年度 自己点検自己評価報告

1. 教育理念・目的・育成人材像

滋慶学園の創立から変わらず『職業人教育を通じて社会に貢献する』ことをミッションに、3つの教育理念【実学教育・人間教育・国際教育】4つの信頼【学生保護者からの信頼、業界からの信頼、高校からの信頼、地域からの信頼】を実践しています。

新型コロナウイルスの影響下にあった2020年以降、動物業界でも様々な業界変化がありました。業界の変化を受け、2022年4月より新たに4年制課程のエコ・テクノロジー科を開設し、上記に加え、テクノロジーの知識、マネジメント力、英語力の育成を行っております。

今年度、沖縄の DMM かりゆし水族館様との AR グラスを用いたバーチャル水族館企画を行います。また、株式会社アイエンター様と AI 水槽の設置モニタリングを準備しています。

卒業生代表 吉本さまより

従来の 2 年制ではなく、4 年制のエコ・テクノロジー科の取組が非常に興味深いです。卒業生ではありますが、一度授業の見学に参加させてもらいたいです。

2. 学校運営

5 年間を一つのタームとして、中長期的な事業計画を作成しています。

現在から 5 年後、10 年後を見据えて計画を立てることで、時代の変化を映した事業計画が作成され、組織として向かうべき方向性を確立することができます。

混沌としていた新型コロナウイルスの影響下を脱し、スタッフも健康で幸せに生活するために、働き方改革にも積極的に着手し、月平均残業時間は 2021 年度 9.52 時間から 2022 年度 8.61 時間に減少しました。

業界代表 大下さまより

5 年度、10 年後を見据えた運営計画はとても参考になりました。

スタッフの残業時間の改善はどのような取り組みをしたのですか？

→まずは業務の棚卸を行い、労力対効果を見て思い切った業務の見直しを行いました。

3. 教育活動

授業の多くは業界で活躍されているプロの先生にお越しいただいておこなっています。

各学科や専攻毎に到達目標が異なるため、学生便覧を作成し、学生の皆様に周知し、講師の先生にも指導要領をお渡しし、講師⇄学生の相互理解に努めています。

動物看護師が【愛玩動物看護師】国家資格となり、2022 年 2 月に第一回目の国家試験がありました。

大阪 ECO の実績は 91.7%の合格率でした。

本日ご参加いただいている中西さんのお子様が入学時より愛玩動物看護師の規定カリキュラムを受講いただいている 1 期生となります。全員が合格できるように学校だけでなく、国家試験対策センターとも連携してサポートしていきます。

保護者代表 中西さまより

国家試験が不合格になった場合はどうなるのでしょうか？

→万が一国家試験が不合格になった場合でも、国家試験対策センターと連携したリスタートセンターに登録してもらい、継続した学習支援、模擬試験の受験を受けることができますので、ご安心ください。

4.教育成果

学生の退学率について 2022 年度は学年全体で 2.4%1 年次のみで 4.0%となり、2021 年度の 2.7%、1 年次 4.7%より改善しました。

特に 1 年次の退学者について、学習面や生活面に課題（障害）を持たれている学生の学校生活への適応が課題となっており、学校だけでなく保護者、滋慶トータルサポートセンターとの連携をより強化しております。

就職に関して 5 月 1 日の段階で卒業生 525 名、就職希望者 460 名の全員が進路決定しております。課題は卒業生に対する就職希望者が 87.6%となっているので、就職に向けた意識の向上を早期におこなっていきたいと思っています。

地域代表 白國さまより

退学率 0 %は究極の目標であって、一人ひとり目の前の学生に向き合って心を配ってあげてください。

保護者代表 中西さまより

保護者向けの就職に関する説明会などはありますか？

→卒業年次の 5 月に開催しております。

5.学生支援

就職に関してはキャリアセンターとして 4 名のスタッフを配置し、担任と連携して就職支援を行っています。

キャリアセンターは在学時だけでなく、卒業後のキャリア形成の相談窓口としても活用することができます。

また、年々利用ニーズが増加している学生の生活相談について、滋慶トータルサポートセンターと連携し、秘密厳守のカウンセラーを配置、担任にも相談しづらい内容もケアできるように努めています。

経済面のサポートも奨学金担当者 1 名、学費相談担当 2 名を配置し、顔が見える相談窓口として、機能しております。

卒業生代表 吉本さまより

同級生が先日開業した時にお祝いのお花をいただいたと聞きました。卒業後も学校と繋がりを持てるのは心強いです

地域代表 白國さまより

学費を準備する保護者への支援を充実させる必要性を感じる

6.教育環境

学内には 150 種類 500 頭羽以上の動物が生活し、動物と日常的に触れ合いながら学ぶこと

ができる学習環境を整備しています。

また、国家資格となった愛玩動物看護師では、業界より高度な医療機器の操作についての要望もいただいているので、エコーや動画解析機器も導入しています。

業界代表 大下さまより

高度医療機器を導入する動物病院は年々増加している。基本的な操作方法とデータの読み取り方を学習させておいてもらいたい。

卒業生代表 吉本さまより

わたしの在学時よりも動物の数が増えていて楽しいだろうな。というのが率直な印象です。

7.学生の募集と受け入れ

2022 年度入学生は入学定員 520 名に対して 577 名入学

2023 年度入学生は入学定員 520 名に対して 574 名入学となりました。

課題は 2022 年度に設置したエコ・テクノロジー科の周知と教育内容の充実を元にした広報活動の教科です。

学生の進路選択はより早期化しており、面談での進路検討時期の確認で、38.9%の方が中学生の時に大阪 ECO を認知、進路の候補としたと回答がありました。

中学生への学校認知を広めるためにも、中学校現場から要望のある SDG's 講演をこれからも積極的に実施していきたい。

卒業生代表 吉本さまより

高校だけでなく、中学校での講演会をされているのはとても興味深いです。早期認知の手法はいつも参考になります。

業界代表 大下さまより

国家試験となった愛玩動物看護師においては筆記試験を設けたらどうか？検討いただきたい

8.財務

事業計画を元に収支計画を立てて学校運営を行っております。

財務情報はホームページにも公開し、第三者監査も受けております。

地域代表 白國さまより

継続した学校運営を可能にする予算配分をお願いします。

卒業生代表 吉本さまより

動物舎がキレイになっていたんですが、改修工事の費用も計画的に組まれているのでしょうか？

9.法令等の遵守

コンプライアンスについては、昨今社会的に厳しい目を向けられることが多く、より一層の対策を志しコンプライアンス委員会を設置しその対策にと務めています。

インターネットを介したトラブル、犯罪も増加しており、スタッフだけでなく、学生向けにも IT リテラシーの研修を行っています。

南海トラフ地震のハザードエリアにも含まれるため、災害想定委員会を設置し、火災だけでなく地震に対しての備蓄の確認、避難救助のシミュレーションを行っています。

地域代表 白國さまより

大規模地震の際に津波の心配も予測されるエリアなので、学生だけでなく地域住民にとっての避難所として期待したいと思います。

10.社会貢献

大阪府内からの進学者は約 60%で、地元から選ばれる学校作りを目指してきました。

その為に、各高校現場に訪問し、出身の生徒が何を学び、何を身につけ、どういう成果を得たかをしっかりとコミュニケーションをとっています。

また、なかなか足を運ぶことができない遠方の高校へはFAXやメール、紙資料を準備し、担当者が法物できなくても情報が届くように工夫をしております。

新型コロナウイルスの影響で学園祭や毎月行っていた飼育開放 DAY、大阪 ECO 水族館等の取組が実施できなかった。今年度は学園祭及び地域住民の方向けの飼育室や水族館の見学イベントを再開しようと思っています。

業界代表 大下さまより

地元大阪からの入学生の割合を聞いて驚きました。

高校の先生と密な情報交換をされている賜物だと思います。

地域代表 白國さまより

都会の中に動物の学校があること自体、近隣の皆さんにとっては興味深いものです。飼育開放DAYや大阪ECO水族館等の取組はとても良いと感じます。

大阪ECOの在校生ではないかもしれませんが、歩道を2,3列になって歩く若者が多く困っています。注意していただきたい。

学校関係者評価シートは 6 月 25 日までに返送をお願いします。